



第351号

2015年11月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

11月15日(22日) 聖書週間 「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所 2015年11月29日(待降節第1主日)からの実施に向けて

教区ホームページ

福音のひびき

Table with 2 columns: Date and Name of the speaker. Includes dates like 1日 諸聖人 七種 照夫 (神言修道会) and 8日 年間第32主日 チブリアノ・ボンタッキオ (金沢教会).

信徒協・金沢バス巡礼2015

長崎キリシタン殉教記念野外ミサ

高山右近に学びながら

名古屋教区信徒使徒職協議会主催による金沢バス巡礼旅行が9月13日にあり、定員49人に対し70人の応募がありました。

金沢にゆかりのあるユースト高山右近の没後400周年ということで、行きのバスでは右近と卯辰山について学び、松浦司教からも体験談を伺いました。



卯辰山は98年10月中旬金沢東部環状道路建設に伴う卯辰山トンネル工事の際、その山腹7メートル四方から40体の人骨が発掘されその後の調査でキリシタンと判明しました。

高山右近は大阪生まれのため、大阪の教会でも有名であり、教会では高山右近の劇が行われるそうです。

司教の話のあと、右近と卯辰山にちなんだクイズ大会を行いました。なかなかの難問にもかかわらず20問ほどを解答

された後、卯辰山に向かいました。教会から15分くらいの所に卯辰山があり、そこまでの道案内とガイドを金沢教会の木越邦子さんにしてもらいました。

十字架は栄光、命の姿を現します。イエスに従う時、ときには損をするかもしれない。けれどその場を生きてみて、復活の喜びのある生き方がある。だから十字架と復活を信じる。新たな思いでその生き方を決心したい。

バスで出発し、金沢城の東西内惣構堀の遺構、浦上四番崩れで金沢に流配されたうち戸主が収容された織屋跡(現在菖蒲園)、女子と小児が収容された養成所跡を車窓から見ました。

バスを降りた後少し坂道を上ると、右手に「長崎殉教者之碑」と書かれた標識があり、それに沿って下ると長崎殉教者碑が建っていました。それは68年(昭和43年)金沢教会が創立80周年記念事業の一つとして建てたものです。

「私達は信仰宣言を唱えますがイエスの信仰の告白とは、イエスの生き心と一歩にイエスの歩んだ道を私の現実の中で生きるという決心をすること。それを生きることが私達の信仰告白です」

「イエスに従う時十字架を背負ってというが、

いつくしみの特別聖年 12月8日開幕!

教皇フランシスコは今年4月、大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」を写真=をを発表して、2015年12月8日(無原罪の聖マリアの祭日)から2016年11月20日(王であるキリストの祭日)までを「いつくしみの特別聖年」とする旨、公布されました。



名古屋教区では、松浦司教が12月8日に特別聖年開幕のミサをささげ、次いで12月13日にはカテドラル・布池教会の大聖堂の聖なる扉を開きます。司教はまた、各小教区でも特別聖年の趣旨をよふさわしく祝い、教区民が特別聖年の趣旨をよりよく理解して取り組むよう希望して、今年も教区デーの取り組みは休止となり、今年度の教区年間テーマの振り返り・総括は、それぞれの小教区で判断で行ってください。

すでに日本カトリック司教団発行による小冊子「新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」」に基づき変更箇所が小教区には配布され、解説も進められている。新しいミサ典礼書の日本語改訂版は、典礼秘跡

中寫さんがその運動に加わった50年前、小浜市内のいろいろな組織・団体が集まって「原発設置反対小浜市民の会」を結成した時、宗教者はたった5人。中寫さんは高野山大学を出て、寺を継いだばかりでした。最初は運動の進め方から「考え方はいろいろ

「私たちの運動は、いくつかの好条件が幸いしたことと、市民の皆さんはもろろん、県内、関西圏、そして全国の皆さんの励ましがあって、ここまでやってこれました。が、何よりも嬉しいのは、子孫への倫理的責任を果たすことができた、ということ」 (正平委 三本木)

感謝を抱きながら金沢を出発し、途中夕食を済ませ、映画「レ・ミゼラブル」を車内で鑑賞し、19時30分に布池教会に到着しました。松浦司教様、金沢教会の皆様、そして、参加していただいた皆様、ありがとうございました。(信徒協 鳥邊)

教区正義と平和委員会委員長 竹谷基伸(父)主催による学習ツアー「脱原発 原発現場で語り合う」が8月22日に行われた。福井県の南西部嶺南地方は、人口わずか15万の過疎地域ですが、そこに

なんと日本全国の原発の30パーセント、15基も密集して「原発銀座」と言われています。そこには、住民の皆さんの厳しい反対と、それを押し切ろうとする側とのあつれきの歴史があります。

中寫さんはその住職です。明通寺は平安時代初期に創建して、1200年の歴史を持つ真言宗の古刹で、本堂と三重塔は国宝、仏像も国宝級のものがいくつもありま

「美しい若狭を守ろう」と話す中寫哲演住職

小浜市・明通寺 中寫哲演住職 「子孫への責任 果たすことできた」



広範な市民の協働で市内の全地域で学習会を開き、ビラの全戸配布、有権者過半数の署名などの運動を進めました。中寫さんは托鉢をしながら、手製のビラを配ったり、署名をお願いしたりしました。誓願が市議会で不採択になっても、市長が過半数の署名を見て誘致を断念する、ということもありました。ある市長は「原発による財源よりも、市民の豊かな心の方を私は選択する」という名言を残しました。

### 世界難民移住移動者の日 9月27日

#### 松浦委員長メッセージ(全文)

#### 「すべての人の母である、国境のない教会」

フランシスコ教皇はこれまで、特に北アフリカからボートでヨーロッパに押し寄せる難民についての支援を世界に呼びかけてきました。受け入れるヨーロッパの国々でも限界にきていますが、実際に命をかけて国を出る難民にはどこにも居場所がないからです。今年だけでボートが転覆して亡くなった人はすでに1,800人を超えています。教皇の指摘するように、この問題を、もはやどこか一国だけで解決することはできません。「移住者がより人間らしい生活を送れるように移住のグローバル化に対処するためには、愛と協力をグローバル化しなければなりません。」

日本はどうでしょうか。ヨーロッパのようにボートで押し寄せることはなくても、2014年度には難民の申請者は過去最高の5000人を超えましたが、認定を受けたのはわずか11人でした。ちなみに同じ年、ドイツは1万1000人、英国は9500人、韓国は94人を難民として認定し、受け入れています。

「すべての人の母である、国境のない教会は、受容と連帯の文化を世界中に広めます。その文化の中では、役に立たない人、居場所のない人、使い捨てられる人などいません。」私たちはこの教皇の呼びかけに応え、誰もが大切にされ、安心して暮らせる「国境を越えた世界」になるように祈り、行動していきましょう。

2015年9月27日

日本カトリック難民移住移動者委員会 委員長 松浦悟郎



東ティモールは、12人は、いずれも80年代、90年代に各地で東ティモール支援の団体を組織したり、状況を紹介します。式には相馬司教とシスター中村の代理として、松浦悟郎司教とシスター塩谷惇子(聖心侍女修道会)が出席。来日した同国のエルナニ・コエリヨ外務協力大臣から賞を受けた。授賞式には東ティモールの大統領が出席する予定だったが、日程の都合で来日できなかった。

## 東ティモール、故相馬司教らに賞

東ティモール民主共和国政府は先代の名古屋教区長、故・相馬信夫司教とシスター中村葉子(聖心侍女修道会)を含む同国の独立回復の闘争に貢献した12人の日本在住者に「東ティモール功労賞」を贈ることになり、9月9日、東京・千代田区のホテルで授賞式を行った。写真。

東ティモールは第2次世界大戦中、日本が占領。戦後はポルトガルの支配に戻ったが、70年代にインドネシアに併合され、抵抗運動への弾圧などで多数の住民が犠牲になった。02年に独立した。日本カトリック正義と平和協議会の会長だった相馬司教は80年代以降、シスター中村らと共に東ティモール問題に関わり始めた。89年8月14日には、米ニューヨークでの国連非植民地化特別委員会で、東ティモールの民族自決に関するアピールを発表している。

## 一人一人の名を呼ぶ神

### 北陸・一粒会の集い

北陸地区一粒会の集いが8月30日、三馬教会で開かれた。松浦悟郎司教、一粒会担当平田豊彦司祭、一宮教会片岡義博司祭をお招きし、三馬教会にて各プロックの会員90人が参加した。今年4月に司祭に叙階された片岡司祭が「誰がその人の隣人になったと思うか」と題し、一時間わたり講演した。講演では、片岡司祭のキーボード伴奏で参加者全員で「ぶどうの木」の歌を合唱した。「ぶどうの木」は、片岡司祭の思い出に残る歌。「人との出会い」「つ



「召命」は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。

ながり」「実り」の意味が込められている。片岡司祭は次のように話した。「今年四月に叙階された際の記念のカードには、「だれがその人の隣人になったと思うか」(ルカによる福音書)のみことばを記した。「生涯を通してどういう司祭でありたいか」という問いかけにいつも初心に戻って思い起こすことができるようにと。隣人として、隣人を愛すること、人の痛みを見たときに自分の「はらわた」が痛むかどうか。きれいなことと終ることなく、このみことばの思いを、素直に大切にしている。

「召命は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。」

「召命」(vocation)とは、「神様が声を出して人の名を呼ぶ」ということ。福音にあるとおり、「神様から一人一人の名前が呼ばれているのだ」ということの重要性を思い起こし、生きる意味、使命に気付いてほしい。ミサの説教では、松浦司教から次のお話があった。

「召命は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。」

「召命は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。」

「召命は、一般に司祭のためのものと思われているが、本当は召命は洗礼による召命のことである。主はキリスト者のみならずすべての人を召命している。主はその人を愛し、その人の名を呼んでいる。」

## 東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会  
 震災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金の会計報告  
 (1) 会計報告 (2011.3.17~2015.10.14)  
 (収入) 小教区からの支援金総額 23,147,199  
 (支出) カリタスジャパンへ振込 9,500,000  
 さいたま教区へ振込 1,000,000  
 オールジャパン会議交通費 123,620  
 \*大阪教会管区大船渡プロジェクト支援 10,585,774  
 大船渡ベースへ車いす4台寄贈 123,200  
 大船渡ベースへ(デジタル)ピアノ寄贈 58,800  
 ボランティア交通費補助 441,150  
 支援金残高 1,314,655円  
 (2) 前月報告(2015.9.9)から2015.10.14までに寄せられた募金の件数と金額  
 1件 90,832円 (振込手数料引去後の金額)  
 ご協力いただいた方々(個人・団体・敬称略)  
 富山教会  
 (3) 司教着座記念チャリティワインによる募金状況  
 ・7~8月 160本販売 80,000円 (振込手数料引去後79,660円)  
 ・9月 880本販売 440,000円  
 販売合計1,030本 支援金合計 519,660円 (振込手数料差引後金額)  
 販売本数1,000本突破! ただ今好評販売中~!! 感謝!!  
 (4) 支援金振込先 郵便振替用紙にて  
 口座番号 00880-6-1628  
 名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会  
 「東日本大震災・災害支援金」と記入願います  
 ★上記、ワイン募金は、1本2,000円(販売価格)のうち500円が大阪教会管区を通し大船渡プロジェクト支援に送られます。(1)の会計報告には(2)(3)も含めて計上しています。  
 ★ボランティアに関するお問合せは下記までお尋ね下さい。  
 社会福祉委員会(担当:村上) 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

教皇受刑者に配慮  
 教皇フランシスコは「いつくしみの特別聖年」に当たっての特別な配慮として、聖年の間に与えられる免償を受ける機会についても拡大することを決めた。免償は、すでにゆるされた罪にともなう有限な罰の免除のこと。通常、聖年の間に免償を受けるには、バチカンまたは地元教区の聖なる扉をくぐり、罪を告白し、聖体を拝領して、教皇の意向のために祈ることが求められる。

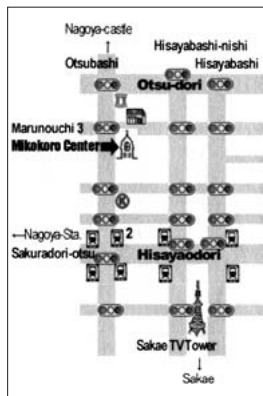
## TOMO NO KAI (共の会)

### CONSULTATINO & Telephone Service

Monday to Friday : 10:00 am ~16:30 pm  
 460-0002 Mikokoro Nagoya-shi Naka-ku Marunouchi 3-6-43  
 TEL 052-953-9480

Bạn đừng lo lắng ưu tư một mình,  
 Xin hãy bàn thảo với chúng tôi.  
 (ベトナム語)

- \* Kết hôn với người nước ngoài / Thông tin giấy tờ gia hạn visa
  - \* Bàn thảo giáo dục con trẻ
  - \* Gia đình, cuộc sống
  - \* Bàn thảo y tế \* Thông dịch luật sư
  - \* Thông dịch qua điện thoại
  - \* Hỗ trợ gia đình, trẻ em khi bị trục xuất
- Tiếng Nhật, tiếng Anh, tiếng Phi  
 Tiếng Tây Ban Nha, Bồ Đào Nha ...  
 Và các ngôn ngữ khác khi có nhu cầu.



## 研修会「グロー司教と小教区共同体を考える！」へ参加の呼び掛け

グロー司教と考える! Part2です。Part1で司教様は論されました。「現実の生活の中での私たちの信仰が問われています。社会の現実が教会の在り方を問うているのです。現代世界憲章は、世界の人々の喜びや悲しみは、キリストの弟子たちの喜びや悲しみでもある、と宣言しました。教会は世の中にパン種として入って行き、その中で生きるのです。」

「教会で奉仕職と呼ばれる聖職者は、神と教会への奉仕者です。信徒は、教会と社会への奉仕者です。社会に信仰を伝えるのは信徒である私たち以外にありません。」

グロー司教とこれからの小教区共同体を考える研修会です。司教の講義に続き、テーマ別小グループでの分ち合いをします。この研修会の成果を各自持ち帰り、各自の小教区共同体で分ち合ってください。

対象者: 小教区信徒代表(男女各1名)と有志若干名と司祭

分ち合いグループ

1. いつくしみの共同体
2. 国際的教会共同体
3. 宣教する小教区
4. 職能別信仰共同体
5. 家庭の教会
6. 女性の特質

## 松浦司教研修会開催!

研修会テーマ  
 グロー司教と小教区共同体を考える

日時 11月23日(月)  
 受付12:30 開演13:00  
 終了17:00

場所 カトリック港教会  
 〒455-0843  
 名古屋市港区錦町25-17

電話 (052)389-1841  
 FAX (052)384-1935

駐車 40台  
 身体障がい者用トイレ、車椅子スロープ完備

講師 ミカエル 松浦 悟郎 司教  
 (名古屋教区長)

対象 小教区代表者(男女)、有志、司祭

主催 信徒使徒職協議会

二〇一五年 一人または二人がわたしの名によって集まるところには、

# 名古屋教区年間テーマ

# わたしもその中にいるのである

## 名古屋教区

### 合同追悼ミサ

名古屋教区合同追悼ミサが9月23日、名古屋市立八事霊園内のカトリック名古屋教区墓地で執り行われた。太田実神父が主司式し、青山玄神父(神言会)、北村雅彦神父、片岡義博神父(教区)、



山口正美神父(港教会)が共同司式した。また光山相泰助祭と増田健助祭(クラレチアン会)が奉仕した。太田神父は「野村司教の名代で、また松浦司教の名代で私が司式しました」と挨拶した。説教では詩人の長田弘の詩の「部を朗読した。この教区合同追悼ミサも年を重ねることに参加者も少なくなりつつあるが、それでも150人が参列した。」

### 城東ブロックの集い講演会

「城東ブロックの集い」が9月27日、膳棚教会において開催された。東京教区の伊藤幸史司祭による講演に約100人の参加があった。



伊藤幸史司祭は「食の力」をテーマに講演する

### カトリックは食の宗教

現代社会の心の闇の最たるものの一つは「自己否定感」である。「日々の食」は「生への肯定感」を育む根本である。子どもは食卓の上で「あなたは大切」という親からのメッセージを食べている。カトリックはパンとブドウ酒という「食べ物を御聖体(御神体)とし、「最後の晩さん」の食卓を再現している。ミサを、信仰の中心として「食の宗教」と言える。「食は様々な関係性(身近な人と人、人と自然、人と社会)の中心であり、」と説く。DVDやスライドを使っての具体的な説明は、視覚からの印象を強くして深く心に残った。ルカ福音書15章以下など、主イエスが大切な話をされる時は、ほとんど食事の時であったという言葉も、改めて目から鱗の落ちる思いで聞いた。(膳棚教会 金森タイ)

### 聖パウロ書院からのお知らせ

大切な人へ心に残る本を贈りましょう！  
いよいよ11月29日から待降節に入ります。クリスマスへ向けて、準備はいかがですか？  
書院では11月27日(金)～29日(日)の3日間、特設会場を設けご降誕祭の準備のお手伝いをいたします。この3日間だけのお得なものをご用意しています。



**書籍紹介** 《近刊予定》  
『子どもたちと読む聖書』 著者：百瀬文晃 出版：女子パウロ会 定価：1188円  
「なぜ羊飼いは1匹いないとわかったの？ 99匹を放っておいてもいいの？」  
子どもたちが聖書の話聞いて発する素朴な質問に答えながら、イエスの伝える福音の神髄を聴きとり、生きようとする黙想書。

**「神父と修道士と宣教師たち」**  
出版：女子パウロ会 定価：1188円  
男性のカトリック信徒の生き方の中から、司祭・修道者・宣教師の歩む道を考察した本。45の会の使命と働きが紹介されています。16世紀のキリスト教伝来から現在まで、生涯を神と人々に捧げた信仰者の愛の物語とは？  
著者：大山 悟 (サンスルピス会司祭) 菅原裕二 (イエズス会司祭) 溝部 脩 (サレジオ会司祭・高松教区名誉司教) 谷口純子 (元小学校校長。カトリック大名町教会信徒。)

### 瀬戸市民司教講演会

瀬戸小教区の信徒を含む瀬戸市民の有志グループが8月29日、松浦司教を招いて講演会を行った。松浦司教の著書「平和をつなぐ」のタイトルがそのまま講演テーマで、瀬戸市文化センターの会議室が20人の聴衆で満席となった。  
戦後70年、集団的自衛権にもはつきりと反対の姿勢を打ち出した司教団メッセージが2月に出されました。「政治の問題としてではなく人間の問題として平和を訴え続けます」の一節は心強い言葉でした。  
6月、瀬戸教会を訪ねられた松浦司教の著書「平和をつなぐ」は、わかりやすさと説得力がありました。地元9条の9条の会で紹介したところ、「ぜひ話を聞きたい」ということで、講演会を一般市民向けに公共施設で行うことにしました。  
教会を超えた信徒7人を含む10人で「松浦司教のお話を聞く会」を立ち上げました。  
8月29日の講演会までに25冊の本を普及し、当日は、200人が司教の話に耳を傾けました。多くの方に私たちの思いが届いたことを実感できました。司教様に心より感謝いたします。  
最後にアンケートの声を紹介します。  
◎ ◎ ◎  
司教様のお話がよく理解できました。司教様がおっしゃったように、最近国会中継を見るのも嫌でした。それで、わからないままに、いざ選挙の時に「ノー」と言えばよいくらいに思っていました。反省いたします。よく知ることが大切で責任を負うことだと思います。  
◎ ◎ ◎  
私は、自分の子ども、孫たちを戦争にかかわらせたくないという思いだけだったが、今日の講演で、全世界すべての人間のためにということに気が付かせていただきました。キリスト者として積極的平和を目指したい。  
◎ ◎ ◎  
クリスマスチャンの聖職者がこのような話をされることに感銘しました。資料を用意していただき事例をもとに、かつ歴史的事実も話され、現実の日本の恐ろしさをわかりやすく説明してくださいました。人間のあるべき姿を改めて思い起こし、積極的に運動を進めていきたい。  
◎ ◎ ◎  
政治家の話す言葉の軽さを肌で感じます。深い洞察による講演内容に、感動しました。できる事なら、もつと町に拡大することを熱望します。憲法9条を守り、武力行使や武力の威嚇によらない話し合い、協調していくことが欠かせない。「剣を取るものは剣によって滅ぶ」。(瀬戸教会 太田智恵子)

### グレゴリオ聖歌による死者の為のミサ

日時 11月22日(日) 14時 場所 東山教会 司式 西脇純神父  
問合せ ☎0561-84-9156 (菅沢)

### カトリック高蔵寺教会 チャーチオルガンコンサート

賛美歌とその主題によるオルガン曲  
オルガン・歌唱指導 吉田文  
日時 12月6日(日) 14:00 (開場13:30)  
問合せ 高蔵寺教会 ☎0568-91-5048 入場無料 (自由献金)

### わらび座 ミュージカル ジュリアおたあ

日時 12月9日(水) 昼の部13:30開場・14:00開演 夜の部18:00開場・18:30開演  
場所 日本特殊陶業市民会館ビレッジホール  
入場料 全席指定4,000円(当日500円増)  
問合せ・予約 ☎052-232-0377 一般社団法人 日韓経済文化交流協会 / ☎052-932-5221 わらび座東海事務所

### 第12回 AJU 自立の家主催 多治見修道院ワインフェスタ

(8か国の修道院のワインを味わう)  
日時 11月3日(火・祝) 10:00～14:30 開場9:30 雨天決行  
場所 多治見修道院 岐阜県多治見市緑ヶ丘38番地  
参加費 3,000円(ワイン1本付き)、当日3,500円(未成年者は入場無料 ソフトドリンク有料)  
交通 お客様専用駐車場は用意していません。公共交通機関をご利用ください。JR多治見駅北口よりシャトルバス(午前9時から)随時運行。徒歩で約30分  
イベント 野外コンサート、出店など多彩な催し物  
問合せ ワインフェスタ実行委員会(小牧ワイナリー) ☎0568-79-3001 FAX 0568-79-3002 E-mail: komakiwinery@aju-cil.com

### 吉田文パイプオルガンリサイタル

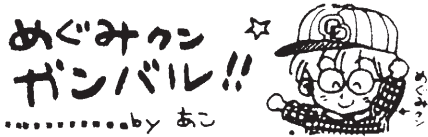
Et in Terra Pax ～そして地には平和  
11/25(水) 19:00  
愛知県芸術劇場 コンサートホール  
曲目  
バッハ／幻想曲 ハ短調 BWV562/I  
フーガ ハ短調 BWV562/I (I 未完成)  
グリニー／「オルガンの本」よりキリエ～グレゴリオ聖歌と交互に  
ジャン・アラン／連祷、賛歌「光の創り主」による変奏曲～グレゴリオ聖歌と交互に  
デュルフレ／アランの名による前奏曲とフーガ Op.7 他  
出演 吉田文 (パイプオルガン)  
入場料 〈全自由席〉2,000円  
問合せ 052-505-0151(二宮音楽事務所)

### パイプオルガン ブランチコンサート

みんなで歌おうクリスマス  
日時 12月14日(月) 10:30～11:30 (開場10:00)  
場所 愛知県芸術劇場コンサートホール  
オルガン 吉田文  
入場料 全席自由 1,000円  
演奏曲 もろびとこぞりて、牧人羊を、きよしの夜 他  
主催 名古屋オルガンの秋実行委員会  
問合せ 二宮音楽事務所 ☎052-505-0151

### 名古屋オルガンの秋 2015

Et in Terra Pax そして地には平和  
11/3(火・祝) 15:30  
パイプオルガンコンサート ベルリン・聖ヘドヴィッツ大聖堂オルガニストを迎えて  
J.S. バッハの作品 O. メシアン(「主の昇天」より) Fl. ヴィルケス「抵抗運動士とヤド・ヴァシェム、民族の正義への交響曲」より  
Fl. ヴィルケス「ベルトルト・ブレヒトの詩による戦後70年への作品(初演)」フロリアン・ヴィルケス (Org.) 安保恵美 (Sop.)  
11/15(日) 15:30  
パイプオルガンコンサート Kyrie eleison 主よあわれみたまえ  
J.S. バッハ 「主よあわれみたまえ」BWV 669, 670, 671  
J. アラン 前奏曲とフーガ Th. マイヤー＝フィービッヒ アタージョ 他 トーマス・マイヤー＝フィービッヒ (Org.)  
11/29(日) 15:30  
パイプオルガンとパーカッション、ナレーターとともに  
Adveniat regnum tuum 天国の来たらんことを  
J.S. バッハ 幻想曲とフーガ短調 BWV542 目覚めよと呼ぶ声あり BWV 645 いざ来ませ、異邦人の救い主よ BWV 659, 661(オルガンソロ)  
Th. マイヤー＝フィービッヒ 我らの主イエスキリストの継承について～マキシミリアン・コルベ、ディートリッヒ・ボンヘッフナー、聖書による7つの章～(日本初演)  
林和利 (Narr.) 佐久間真理 (Perc.) 吉田文 (Org.)  
全コンサート 入場無料(各催し物後に今後の「名古屋オルガンの秋」実行のためのご任意の寄金を)  
会場 カトリック五反城教会 中村区二瀬町27  
TEL:(052)412-3456  
地下鉄東山線「岩塚駅」2番出口より徒歩5分  
主催 「名古屋オルガンの秋」実行委員会  
お問合せ先 二宮音楽事務所 052-505-0151  
mail:aya-yoshida.de  
オルガンの秋ホームページ http://organaki.exblog.jp



めぐみカン ギンバル!! by あこ
厳しさの中に
温かな神アを
天の国に召され
行ったが...

去年のクリスマス
杖をのたがら
腰に椅子が
かいての司式
目にして後姿が
目に浮かぶ

お見舞いにも行
亡くなった時
彼が残してく
ものがはつきり
感じられた

「死とはどうい
ものなのかも
知れないかも
知らぬうちに
あらかたのた

- 11月の教会暦
(祭) 祭日 (祝) 祝日 (記) 記念日
1日(日) 諸聖人 (祭) (年間第31週)
2日(月) 死者の日
4日(水) 聖カロロ・ボロメオ司教 (記)
8日(日) 年間第32主日
9日(月) ラテラン教会の献堂 (祝)
10日(火) 聖レオ一世教皇教会博士 (記)
11日(水) 聖マルチノ (ツール) 司教 (記)
12日(木) 聖ヨサファト司教殉教者 (記)
15日(日) 年間第33主日
17日(火) 聖エリザベト (ハンガリー) 修道女 (記)
21日(土) 聖マリアの奉献 (記)
22日(日) 王であるキリスト (祭) (年間第34週)
24日(火) 聖アンデレ・ジュン・ラク 司祭と士殉教者
29日(日) 待降節第1主日
30日(月) 聖アンデレ使徒 (祝)
12月の主な教会暦(主日・祭日など)
3日(木) 日本宣教の保護者 聖フランシスコ・ザビエル司祭 (祝)
6日(日) 待降節第2主日
8日(火) 宣教地司祭育成の日 (献金)
8日(火) 無原罪の聖マリア (祭)
13日(日) 待降節第3主日
20日(日) 待降節第4主日
25日(金) 主の降誕 (祭)
27日(日) 聖家族 (祝)

- 11月 教区行事予定
1日(日) 岡崎教会堅信式
7日(土) 宣司評運営委員会
8日(日) 教区東八事第二墓地合同追悼ミサ
10日(火) 三河B会議、教区中高生会樹の会例会
12日(木) 難民移住移動者委員会
14日(土) 教区顧問会
15日(日) 豊橋教会堅信式
17日(火) 城北B会議、城東B会議、城南B会議
19日(木) 司祭協議会、教区顧問会
21日(土) 正義と平和委員会「学習会」、名古屋クリア
22日(日) 教区デー (休止)
23日(月) プローロ司教と考える Part 2
24日(火) 共助組合共助の集い
28日(土) 愛知県キリスト教連合会青年委員会、典礼委員会
3日(木) 司祭協議会、教区顧問会
6日(日) 鳴海教会堅信式
8日(火) 宣司評常任委員会
12日(土) 樹の会例会
13日(日) 信仰教育委員会「神学講座⑧」、信徒協理事会
15日(火) 愛岐B会議、教区中高生会JCN A
19日(土) 名古屋クリア
26日(土) 教区付き司祭の集い、青年委員会

典礼委員会主催
朗読奉仕者ミニ研修会
内容 朗読練習
講師 工藤勲氏 (南山教会信徒)
日時 11月7日(土) 14:00~16:00 (13:30受付)
会場 南山教会大聖堂
参加費 500円 持ち物 「毎日のミサ」11月号、12月号
申込切 10月25日 (日)

神言会多治見修道院・黙想会
閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を！
11月14日(土) 10:00~15日(日) 16:00 指導：及川神父
イエスは語る「あなたはどんな時に一番嬉しいと感じますか」と。 対象：信徒
12月5日(土) 10:00~6日(日) 16:00 指導：及川神父
イエスは語る「あなたは私に会ったなら何を話したいですか」と。 対象：信徒
料金 宿泊費2,500円+指導者への謝礼+自由献金
食事 仕出し弁当又はスーパーで購入。
申込み 神言会多治見修道院研修センター(9時~16時30分)
☎ 0572-22-2038 / Fax 0572-22-2076
携帯電話 090-7696-8089

聖パウロ女子修道会 (パウロ書院) からのお知らせ
「ご一緒に、ロザリオの祈りをしましょう」
日時 11月 8日(日) 午後2時から (40分程)
12月13日(日) 午後2時から (40分程)
場所 聖パウロ女子修道会 (聖パウロ書院)

「読書会」を開きます。
日時 毎月第3土曜日 午後2時~3時30分
第2回目は11月21日(土)
場所 聖パウロ書院1階サロン
本 「キリスト教とは何か? ①復活の秘儀をめぐって」 柏谷甲一著
毎月1章ずつ7回に分けて読みます。(方法は変更可能です)
対象者 信者さんに限りません。どなたでもお越しください。
問合せ 聖パウロ女子修道会 (聖パウロ書院)
名古屋東区葵1-13-2
☎ 052-936-4443
担当・シスター森

《聖書による子育ての集い》
子育ての責任を自分一人に負わされていると感じているお母さん、互いに経験を分かち合い学び合いながら、子育ての喜びを発見していきましょう! 「見つけた 子育てのよろこび」を参考にします。
日時 毎月第2日曜日 ミサ後、約1時間
場所 東山教会小聖堂
対象 小学低学年くらいまでのお子さんを持つお母さん
☆お子さんを連れての参加もできます。
担当 シスター渡邊かをる (援助修道会)
※事前の申し込みは不要です。
※お問い合わせは、シスター渡邊まで。
連絡先 援助修道会 (052-782-1150)

青年のための聖書の学び
自分の人生を切り開きたいわかものたちへ
「学び」の後期計画が完成しましたので、ご案内いたします。
日時 11月15日(日) 湖の上を歩く
12月20日(日) 昔の人の言い伝え
1月17日(日) しるし
2月28日(日) 一番偉い人
場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会名古屋修道院
名古屋千種区園山町1-56
対象 18歳から30歳 (青年男女)
時間 午後2:00~7:30 (高校3年生は4:30まで)
詳細 1:30~ 玄関を開けます。2:00~ 「学び」
3:00~ 「分かち合い」、4:00~4:30 おやつ (前半終了)
共同体と共に祈りと食事をする (5:45~ご聖体礼拝、晩の祈り、夕食)、7:30終了
おやつと食事は自由参加、会費:自由献金
尚、午後4:30までの参加の方は申し込み不要です。
担当 シスター・碓 (いかり) 政子
☎ 052-782-5582
FB 「青年のための聖書の学び」
HP http://www.concepcionistas.jp/

《名古屋一日静修》
カルメルの霊性を生きる
ーアビラの聖テレジアー
日時 11月23日(月・祝) 「念祈の祈りととは?」
12月23日(水) 「自分を知ること」
\*午前10時~午後4時\*
場所 カトリック日比野教会 信徒会館 (地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)
指導司祭 九里彰 神父 参加費 1,000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当
主なプログラム 講話、念祈、ゆるしの秘跡、面接など。
途中に昼食、最後に茶話会あり。
申し込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
FAX / 0568-62-5167
mail / seisyuu\_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係り

WYD クラクフ大会、巡礼団の募集開始
2016年7月下旬にポーランドでワールドユースデー (WYD) ・クラクフ大会が行われる。同大会への公式日本巡礼団メンバーの募集が10月1日から始まった。申し込み期間は来年の4月12日まで、概要は以下のとおり。
コース (Aコース) 16年7月23日~8月2日。11日間。30万円
(Bコース) 16年7月23日~8月5日。14日間。35万円
(ともに燃油サーチャージ、現地出入国税等は含まれている)
発着地 成田、関西、福岡 (エコノミークラス)
募集人数 150人。
参加資格 18歳 (高校生を除く) ~35歳。国籍不問。
申込方法 日本公式巡礼団事務局
☎ 03-5632-4480、FAX 03-5632-4465
E-mail wyd@cbcj.catholic.jp
HP http://cbcj.catholic.jp/jpn/committee/wyd/krakow/

建設費の返済に協力を
536件 27,182,231円
目標額 40,000,000円 (9月末)
達成率 約68.0%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

告知板
福信館便り ☎ 052 (935) 7180
11月の炊き出し
木5日布池、12日東海・樹の会・南山、19日聖霊・樹の会・南山、26日城北橋
金6日喜望の会、13日一宮、20日布池、27日南山
ヨハネス・マリア・ウマンズ神父 (神言会)
10月12日 19歳 帰天、89歳
26年4月24日オランダ・アムステルダム生まれ。45年神言会入会。51年終生誓願。同年司祭叙階。52年来日。63年南山教会、70年膳棚教会。83年東光庵 (瞑想の家) 開設。

